

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の 部と、同じ読み方をするものを、ア～エの中から一つ選びましょう。

レベル5

外来語には、組み合わせたり、省略したりして、日本で作られたものもある。

ア 地球には、たくさんの生命がそんざいする。

イ リレーで、一位に入賞する。

ウ テレビがこわれたので、修理に出す。

エ 節分に、豆を食べる。

2 次の 部を漢字で書きましょう。

レベル5

医師をこころざす。

3 次の熟語の漢字の組み合わせとして、正しく説明しているものをア～エの中から一つ

選びましょう。レベル9

温水

ア 似た意味をもつ漢字の組み合わせ

イ 反対の意味をもつ漢字の組み合わせ

ウ 上の漢字が、下の漢字をくわしくしている関係にある組み合わせ

エ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ

4 次の 部の主語を書きぬきましょう。

レベル9

母がよく行くスーパーが駅の近くに移転した。

5 次の 部は、何を指していますか。文の中から書きぬきましょう。

レベル4

ぼくは、店で花を買ってきた。それを仏だんにそなえた。

6 次の熟語と似ている意味をもつ言葉、反対の意味をもつ言葉を、ア～エの中からそれぞれ一つずつ選びましょう。 **レベル7**

現実

似ている意味をもつ言葉……………

ア 事実
イ 理想
ウ 特別
エ 結果

反対の意味をもつ言葉……………

7 次の 部がくわしくしている言葉を、ア～オの中からそれぞれ一つ選びましょう。 **レベル8**

(1) わたしは、おととい、北海道の おばあちゃんと 電話で 話した。

(2) 弟の 小さな 消しごむが、コロコロと ゆかに 転がっていった。

8 次の 部を、それぞれ尊敬語やけんじよう語などの敬語に直しましょう。 **レベル7**

今日 来た お客様から、 おみやげを もらいました。

9 () に同じ漢字を当てはめると、慣用句やことわざになります。当てはまる漢字一字を、 **レベル8**

- ・ () を丸くする
- ・ 弱り () に たたり ()
- ・ () くじらを立てる
- ・ 二階から () 薬

当てはまる漢字



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

ここに

小谷さんは、しょう来の夢を発表するため、【発表原こう】を作りました。【発表原こう】と【資料】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【発表原こう】

みなさんは、どんな夢をもっていますか。ぼくは今まで、野球選手になりたいと思ったり、プログラマーになりたいと思ったり、しょう来の夢が何度か変わっています。

ア

今のぼくのしょう来の夢は、建築士になって、自分が設計した家に住んでいる家族が幸せになってもらうことです。

みなさんがどんな夢をもっているのか気になったので、アンケートをとりました。

イ

アンケートの結果から、スポーツ選手やイラストレーターになりたい人が多いことがわかりました。また、男子と女子とで、しょう来の夢が違うこともわかりました。男子と女子のしょう来の夢で共通して多いものは、学校の先生だと思いました。

...

ウ だということも分かりました。

ぼくは、建築士になるために、学校の勉強をがんばっています。特に算数をがんばっています。算数には、かく大やしゆく小という勉強があり、これは建築士の仕事でも役に立ちます。その他にも、図工の勉強も、家のデザインを考えるときに役に立ちます。今、小学校で勉強していることをがんばって、しょう来は建築士になって、自分が設計した家に住んでいる家族が幸せになってもらいたいと思います。

（作成者自作）

【資料】

しょう来の夢ランキング

順位	男子	女子
1位	スポーツ選手	イラストレーター
2位	ゲームクリエイター	学校の先生
3位	会社員	看護師
4位	動画クリエイター	保育士
5位	学校の先生	パティシエ

1 小谷さんは、【発表原稿】を読み直して、次の文を、アの部分に入れるという工夫をすることになりました。どのような目的でどんな工夫をしたのでしょうか。最もふさわしいものを、1～4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル7**

神奈川県に住んでいるおじさんが新しい家を建てたので、今年の夏休みに、遊びに行きました。おじさんとおばさん、いとこの女の子も、とても楽しそうに、新しい家での生活を話してくれました。新しい家に住むと、そこに住んでいる人が幸せになるのだなと思いました。

1 聞き手が身近な話題として聞くことができるように、友達から聞いた話をしている。
2 伝えたいことがより具体的になるように、自分の体験を入れている。
3 聞き手の興味を引くために、呼びかける形で話している。
4 学校の勉強をがんばることが、夢を実現するために大切であることを強調するために、自分の体験を入れている。

2 小谷さんは、【資料】を、イの部分で示しながら発表しようと考えています。その理由として、最もふさわしいものを、1～4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル7**

レベル7

1 資料を示すことで、話題が身近になり、共感しながら読んでもらうことができるから。
2 資料を示すことで、建築士という仕事のよさを伝えることができるから。
3 資料を示すことで、聞き手がしよる来の夢を考える材料になるから。
4 資料を示すことで、聞き手が理解しにくい内容を補おぎなうことができるから。

3 小谷さんは、【発表原稿】を読み直して、ウのように直すことにしました。その理由として、最もふさわしいものを、1～4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル8**

レベル8

1 この部分は、自分の考えではなく、調べた結果で事実だから。
2 読んでもらう人が、年上の人もいると考え、敬語にしたほうがよいと考えたから。
3 自分が体験したことを加えたほうが、より具体的になると考えたから。
4 アンケートの結果から分かったことが、一つではなく三つだったから。

復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前

【「書くこと」を問う問題】

1 次の文に、読点（、）を一つ打ち、あわてているのはお父さんという意味になるようにします。読点を打つとよい位置を、次のア～エの中から一つ選びましょう。 **レベル8**

ぼくは **ア** あわてて **イ** 会社へ行く **ウ** お父さんを **エ** 見送った。

2 次の文が、わたしと弟の二人でプレゼントを買ったという意味になるように、読点（、）を一つ打ちましょう。 **レベル8**

わたしは弟とお母さんにプレゼントを買った。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

山から里の方へ遊びにいった猿が一本の赤い蝋燭を拾いました。赤い蝋燭は沢山あるものではありません。それで猿は赤い蝋燭を花火だと思い込んでしまいました。猿は拾った赤い蝋燭を大事に山へ持って帰りました。

山では大変なさわぎになりました。何しろ花火などというものは、鹿にしても猪にしても兎にしても、亀にしても、鼬にしても、狸にしても、狐にしても、まだ一度も見たことはありません。その花火を猿が拾って来たというのであります。

「ほう、すばらしい。」

「これは、すてきなものだ。」

鹿や猪や兎や亀や鼬や狸や狐が押合いへしあいして赤い蝋燭をのぞきました。すると猿が、

「危ない危ない。そんなに近よってはいけない。爆発するから。」

といいました。みんなは驚いてしりごみしました。そこで猿は花火というものが、どんなに大きな音をして飛び出すか、そしてどんなに美しく空にひろがるか、みんなに話して聞かせました。そんなに美しいものなら見たいものだと思いは思いました。

「それなら、今晚山の頂上に行ってあそこで打上げて見よう。」

と猿がいました。みんなは大変喜びました。夜の空に星をふりまくようにばあつとひろがる花火を眼に浮べてみんなはうっとりしました。

さて夜になりました。みんなは胸をおどらせて山の頂上にやって行きました。猿はもう赤い蝋燭を木の枝にくくりつけてみんなの来るのを待っていました。いよいよこれから花火を打上げることになりました。しかし①困ったことが出来ました。ともうしますのは、誰も花火に火をつけようとしなかったからです。みんな花火を見ることは好きでしたが火をつけに行くことは、好きでなかったものであります。これでは花火はあがりません。そこで くじをひいて、火をつけに行くものを決めることになりました。

第一にあたったものは亀でありました。亀は元気を出して花火の方へやって行きま
 した。だがうまく火をつけることが出来たでしょうか。いえ、いえ。亀は花火のそばま
 で来ると首が自然にひっこんでしまっ出て来なかったものでありました。そこでくじ
 がまたひかれて、こんどは鼈が行くことになりました。鼈は亀よりは幾分ましでした。
 というのは首を引込めてしまわなかったからであります。しかし鼈はひどい近眼であ
 りました。だから蠟燭のまわりをきよろきよろとうろついているばかりでありました。
 とうとう猪が飛び出しました。猪は全く勇ましい獣けだものでした。猪はほんとうにやっつい
 って火をつけてしまいました。みんなはびっくりして草むらに飛び込み耳を固くふさ
 ぎました。耳ばかりでなく眼もふさいでしまいました。しかし蠟燭はぼんともいわずに
 静かに燃えているばかりでした。

（新見南吉）

②

「より」

(1) ① — とありますが、それはどんなことでしょうか。次のア～エの中から一つ選
 びなさい。 **レベル7**

ア 花火だと思っているものが花火ではないので、打ち上げることができなかったこ
 と。

イ 誰も花火の火の付け方がわからなかったこと。

ウ 誰も花火に火をつけようとしなかったこと。

エ みんな花火に火を付けるのがこわかったこと。

(2) 花火に火を付けに行ったのは誰ですか。次のア～エの中からあてはまらないものを
 一つ選びなさい。 **レベル8**

ア 猿

イ 猪

ウ 亀

エ 鼈

(3)

②

には、この物語の題名が入ります。この物語の題名として適している
 ものを次のア～エの中から一つ選びなさい。 **レベル8**

ア 勇ましい獣

イ 猿のいたずら

ウ 赤い蠟燭

エ 山の頂上

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前

【「読むこと」を問う問題】

1 相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】

面ファスナーは、かさやくつなど、^①さまざま製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができ、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がったかぎ状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー（頭をあてる布）の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、短時間でヘッドレストカバーを交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬフックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適していたのです。誰もが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布やかばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がっていきました。布のように柔軟性があり、物や体の形にびったり合わせることで面ファスナーが適していたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動ぐつでした。ひもぐつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐあいを調節することができるよさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。

ウ

イ

ア

